

## 行政報告の主な内容（7課22項目）

(1) 総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	桜を見る会について
	行財政改革の実績状況について
	強風等による被害の発生状況について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	障がい者通所多機能事業所の開設について
	富良野協会病院産婦人科診療体制について
(3) 町民生活課	カムローズ市との交流事業について
	町税等の収納対策について
	クリーンセンターダイオキシン測定について
	子ども手当への支給について
(4) 産業振興課	口蹄疫対策について
	農作物の育成状況について
	戸別所得補償制度
(5) 建設水道課	建設産業安全大会について
	道路環境緊急整備事業について
	公園緑地広場の地元管理移行について
(6) 町立病院	町立病院の運営状況について
(7) 教育振興課	上富良野高校の現況について
	青少年国際交流事業について
(8) 総務課	建設工事の発注状況について

# 行政報告

(平成22年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

## (総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制ではありますが、職員数については昨年度中の定年退職者など10名の欠員に対して、看護師2名、管理栄養士1名、保健師1名、一般事務職2名の計6名を採用し、昨年度当初から4名減の194名による体制としたところであります。

なお、職員定数条例の規定に基づく暫定定数の期間が本年度末をもって終了することから、本年度は、次年度以降の組織機構のあり方や職員の適正数について、検討を進めなければならないと考えております。

今後とも、町民の皆様と協働のまちづくりの実現のため、加えて地域主権型社会に対応し得る組織の見直しや仕組みの検証を行いながら、町民との信頼関係の構築に努めて参ります。

次に、国の栄典関係ではありますが、本年度の春の叙勲において、地方自治功勞として、我が町2世紀の礎を築いていただいた前町長<sup>おぎしたかお</sup>尾岸孝雄氏が<sup>きょくじつそうこうしょう</sup>旭日双光章を、また、危険業務従事者叙勲においては、防衛功勞として、<sup>さとうりょういつ</sup>佐藤良逸氏が<sup>ずいほうそうこうしょう</sup>瑞宝双光章を、<sup>いまいしげお</sup>今井茂雄、<sup>たかはしひでよ</sup>高橋英世両氏が<sup>ずいほうたんこうしょう</sup>瑞宝単光章を受章されました。

さらに、春の褒章において、統計調査功勞として、<sup>たなかみのる</sup>田中實氏が<sup>らんじゅほうしやう</sup>藍綬褒章を受章されました。

改めて受章されました皆様のこれまでのご功績に心から敬意を表するものであります。

次に、例年、新宿御苑で開催されている内閣総理大臣主催の「桜を見る会」に、鳩山前首相からのご招待を頂き、去る4月17日、各界からの約1万人の招待者とともに参加して参りました。

次に、行財政改革の取り組みについてであります。平成16年度よりスタートした「行財政改革実施計画」は、平成18年度に「集中改革プラン」に衣替えし、計画期間を1年延長して平成21年度をもってその期間を終了したところであります。計画に掲げた32の実施項目に基づき、その実践に努めてきたところであり、6年間における全体の実績効果累計額については、39億3千万円となったところであります。

これは、町民の皆様と職員が一体となり取り組んできた結果であり、新しいまちづくりに大きな力となったところであります。

三位一体の改革など地方財政を取り巻く環境が極めて厳しい状況の中で、改革に伴う痛みについても町民の皆様と共有しながら、この計画で目指した「持続可能な財政構造への転換」「協働のシステムづくり」「行政資産の戦略的・重点的な活用」を基本として、財源調整のための基金に頼ることのない予算編成や自治基本条例の制定、政策調整枠予算の創設など成果を上げることができたところであります。

今後においては、「協働」を計画の柱とする「町政運営改善プラン」がスタートしましたので、引き続きその実践に努めて参ります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、強風等による被害の発生状況についてであります。3月21日から22日未明にかけて発生した風雪により、ビニールハウス 38棟をはじめ、倉庫シャッターの破損等4箇所被害総額が212万円となっております。

さらに、4月13日の突風では、ビニールハウス1棟のほか、白銀荘の屋根の一部が破損、公園内の立木の一部が倒れ、被害総額は約15万円となっております。被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

次に、自衛隊関係であります。5月13日に町内の協力関係団体の方々及び議員の皆様とともに、防衛省内局をはじめ、関係国会議員に上富良野駐屯地の現状規模堅持に関する要望を行い、翌5月14日には「北海道の自衛隊体制維持を求める中央総決起大会」が関係者450名の参加のもの開かれ、協力いただきました町内関係者に改めてお礼申し上げます。

また昨日は、旭川市長はじめ関係者とともに、第2師団管轄の体制維持を求める要望も関係国会議員や防衛省へ行ってきたところであります。

記念式典関係では、第7師団創立55周年、東千歳駐屯地創立56周年、第2師団創立60周年、第3地对艦ミサイル連隊創立16周年の各記念行事に参加して参りました。なお今週末には、上富良野駐屯地創立55周年記念行事が予定されておりますので、町民の皆様とともにお祝いしたいと思っております。

次に、基地対策関係では、5月18日に駐屯地及び第2師団へ、5月27日には北海道防衛局及び北部方面総監部へ、更に6月3日には防衛省へ平成23年度の防衛施設周辺整備事業要望を行って参りました。

### (保健福祉課行政報告)

次に、障がい者通所型多機能事業所「なないろニカラ」の開設についてであります

が、本町の空き店舗を活用して、去る4月12日に開所式が行われ、既に、日中一時支援、就労や移動支援などの事業を開始しており、現在、日中一時支援の利用者11名を含めて、13名の方が利用されております。

次に、富良野沿線で唯一の地域周産期母子医療センターに指定されている富良野協会病院の産婦人科診療体制についてであります。常勤医師が3月末の退職に伴い不在となり、以後派遣医師による診療が継続されてはいるものの、常勤医師確保の見通しが立っていない状況で推移しておりましたが、昨日1名の常勤医師が確保できた旨の一報をうけたところであります。現在、診療体制等の詳細が分からない状況の中で、本町も多くの妊婦の方が同病院を利用しているところであり、これら妊婦の方々の出産に向けた不安感や転院に伴う負担感を出来る限り解消するよう、緊急助成措置として「上富良野町いきいき妊婦応援事業」を計画し、関係経費を含めて本定例会に補正予算案を提案させていただいておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

#### (町民生活課行政報告【自治推進班関係】)

次に、カムローズ市との交流事業についてであります。今年は、カムローズ市友好提携25周年の節目の年にあたることから、私が団長となりまして総勢14名の公式訪問団を結成し、8月2日から7日までの6日間の日程でカムローズ市を訪問し、友好都市提携延長に関する盟約書への調印をはじめ、文化交流などを通して、さらに絆を深め国際交流の推進を図って参ります。

また今年度は、青少年国際交流事業でカムローズ市を訪問する年でもありますことから、合同での訪問とするよう取り進めているところであります。

#### (町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、平成21年度の町税等の徴収状況であります。管理職全員による滞納プロジェクト2回の臨戸訪問徴収により、町税619万1千円、上下水道料32万7千円の徴収をいたしました。また、昨年10月に上川支庁管内市町村合同窓口が開設され、旭川市内及び旭川市近郊の滞納者41名に対し、催告書及び呼出状を発送するとともに、上川支庁との合同呼出に参加し、36万8千円を収納いたしました。また、昨年12月に夜間・休日納税相談窓口を開設し、催告書に併せ呼出状を発送し、819万6千円を収納いたしました。さらに、滞納者に対する差押えを22件執行し、44万2千円の換価収納をいたしました。

また、コンビニ収納については、7千589件、1億1千742万円の収納があり、開始から3年目を迎え年々利用件数が増加しており、納税者に浸透してきている状況にあり必要に応じPR等も行っております。

あわせて、行政サービス制限措置条例により町民の方々の納期内納税の意識も高まってきており、様々な収納対策を講じて、税込確保に努力しているところであります。

5月末現在の現年度の収納率は、町税で0.1%、国保税で0.9%向上したものの、滞納繰越税額では、町税で2千539万3千円、国保税で3千843万7千円となっており、前年対比では町税で316万6千円、国保税で41万1千円の増加となったところであります。景気の低迷が続き回復の兆しが見えないことから未納となる傾向にありますが、納税意識の高揚や負担の公平性との観点から引き続き収納率向上に向けて努力して参ります。

#### (町民生活課行政報告【生活環境班関係】)

次に、クリーンセンターのダイオキシン類測定結果についてであります。4月に1回目の測定を行った結果、A系が0.0000047 ナノグラム・B系は0.0000022 ナノ

グラムであり、町独自の基準値である5ナノグラムを大きく下回っております。今後とも適切な施設の管理運営に万全を期して参りたいと考えております。

### (町民生活課行政報告【総合窓口班関係】)

次に、子ども手当についてであります。6月を最初に、10月、2月と年3回の支給を行います。

今春より新規支給対象者となる中学生等に申請案内受付を行い、本町では、対象者481世帯782人分 2千17万6千円を6月10日に、口座振込みによって支給したところであります。なお、公務員の方につきましては、勤務先からの支給になっているところであります。

### (産業振興課行政報告【農業振興班関係】)

次に、4月20日に宮崎県で発生が確認された口蹄疫についてであります。いまだ沈静化が図られていない状況にあり、大きな社会問題となっております。

当町におきましては、宮崎県で発生が確認された翌日より、全畜産経営者を対象に口蹄疫被害の状況や防疫対策の徹底に関する情報提供をはじめ、「家畜自衛防疫組合」と連携して消毒薬の配布、消石灰の配布を終えたところであります。

さらに、町内主要施設へのポスター掲示やチラシの全戸配付により、町民の皆様にも口蹄疫の侵入防止に向けたご理解とご協力をお願いしているところであります。

また、富良野沿線の行政、農業関係機関、観光関係機関等で構成する「富良野地域口蹄疫侵入防止対策連絡会議」が6月2日に発足したことから、対策に関する情報共有・情報交換を綿密に図り、口蹄疫の侵入防止に向けた広域的な取り組みも進めて参

ります。

これから、観光シーズンを迎えるにあたり、その対応が難しい局面ではありますが、現時点においては、過剰な対策は自重しつつも慎重に対処して参りたいと考えております。

次に、農作物の生育状況等についてであります。融雪の遅れとともに4月中・下旬の低温が影響し、畑作関係では平年に比べ5日から6日の遅れ、野菜についても一般的に1週間程度遅れている状況にあります。

稲作については、は種後における温度変化が大きかったことなどにより育苗管理に苦勞が多く、また、移植期間中も低温や断続的な強風と降雨による作業の停滞も見られましたが、5月下旬の好天で作業が進み、移植終期は4日遅れとなっております。

今後においては、順調な天候に期待すると共に、農業者の皆様のがんばりによって、より良い出来秋を迎える事ができるよう願っているところであります。

次に、本年度から一部実施となりました「戸別所得補償制度」であります。特に混乱もなく受付作業が進捗している状況にあります。制度の大幅な変更により、減額が懸念されていた転作作物への交付金も、今年度に限っては激変緩和措置により、昨年度と同程度の額が交付される見込となっております。

本制度の来年度からの本格実施を控え、今後も国の動向を注意深く見守りながら、農業者の皆様に対して、情報提供など必要な対応に心がけて参ります。

### (建設水道課行政報告)

次に、建設産業安全大会についてであります。5月11日に保健福祉総合センターにおいて、上富良野建設業協会と上富良野町商工会工業部会の主催により、関係者

150名の参加者のもと開催され、地域・職場からの交通事故と労働災害の撲滅を、決意宣言により参加者一同で誓い合ったところであります。

次に道路環境緊急整備に伴う住民会との協働作業についてであります。4月下旬から6月上旬にかけて、6地区の住民会と実施し、道路沿いのゴミ約2トンを回収処理しました。協力頂きました住民会の皆様に深くお礼申し上げます。

今後も9月頃まで、残る主要路線について随時沿道の緊急清掃を継続して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、公園緑地広場の地元管理移行についてであります。本年度は協定の整った6つの住民会において、先行的に地域の皆様方の手による広場等の管理作業が開始されました。

協働のまちづくりを推進する実践事業と位置づけ、今後実践結果を検証しながら全町的に広がるよう取り組んで参ります。

#### (町立病院行政報告)

次に、町立病院の運営関係についてであります。病院事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあるものの、平成21年度の決算では、患者数、利用者数は前年度比で総じて増加となり、収益面でも入院、外来共に堅調に推移しました。また、老人保健施設においても1年間を通じて、95%を超える病床稼働率となり、安定した運営により収益も予想を上回る結果を得ることができたところであります。

#### (教育振興課行政報告)

次に、上富良野高校の入学状況についてであります。今春の入学者数は、地元の

中学校卒業生28名を含む42名となったところであります。

例年を上回る入学者があり、関係者の一人として、大変喜んでいるところですが、存続については依然として厳しい状況にあります。

今後においても、上富良野高校が地域に根ざした特色ある高校として存続できるよう町民の理解と協力をいただきながら努力して参ります。

次に、第6回青少年国際交流事業についてであります。参加者募集を行ったところ町内在住の中学1年生から高校2年生までの11名の申し込みがあり、決定したところであります。

今後につきましては、事前学習会、結団式を実施後、教育長が団長となり、3名の引率者と共に、8月2日から8月10日までの9日間で、カナダ国カムローズ市等を訪問し、両市町の友好を深めるとともに、見聞を広め国際意識の高揚に資するよう努めて参ります。

#### (総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてですが、本年度、入札執行した建設工事は、6月11日現在、件数で7件、事業費総額で1億8千539万8千5百円となっております。また、本年度、発注予定の建設工事は27件で、その情報については4月1日付で公表したところであります。

なお、お手元に配付いたしました「平成22年度建設工事発注状況」については、平成21年度の国の第2次補正予算に基づく、地域活性化・きめ細かな臨時交付金を財源として、平成21年度末に入札執行した事案を含めて記載しておりますので、後ほど御高覧いただきたく存じます。